

職場における従業員の禁煙推進の取り組み



2025年11月9日(日)

JFEスチール株式会社 棒線事業部仙台製造所
安全健康環境防災室 保健師 小野寺梓



目次

1. JFEスチール 棒線事業部仙台製造所の概要
2. 禁煙活動の実際
(2021年～現在まで約4年間の取り組み)
3. まとめと今後の方針



JFEスチール仙台製造所



JFEスチールの生産拠点

JFEスチールとは？…鉄鋼製品を製造する会社(従業員約1.2万人)



西日本製鉄所

- ・世界最大級の一貫製鉄所（高炉）
- ・主要製品：薄板、厚板、電磁鋼板、**棒鋼・線材**、形鋼

福山地区



1000万t/年
JFES:5000人
協力会:10000人

倉敷地区



800万t/年
JFES:4000人
協力会:10000人

90万t/年(圧延のみ) 知多製造所

JFES:800人
協力会:2000人

- ・世界有数の鋼管工場
- ・鋼管品揃え世界一



仙台製造所

- ・電気炉（低CO₂）
- ・棒鋼・線材の特殊鋼
圧延設備を備える

本社（東京）



京浜地区



千葉地区

60万t/年
JFES:500人
協力会:900人

400万t/年
JFES:2000人
協力会:5000人

東日本製鉄所

- ・大都市隣接 & 高級鋼製造を得意とした製鉄所
- ・主要製品：薄板、ステンレス、厚板、鉄粉、鋼管

JFEスチール 仙台製造所の所在地



1. 所在 : 仙台市宮城野区港1-6-1
 2. 敷地面積 : 574, 721m²
(東京ドーム12個分)
 3. 従業員 : 直500名 協900名
 4. 主要製品 : 棒鋼 線材
 5. 生産量 : 最大65千t/月
 6. 特記事項 : JFEスチールで唯一の電炉地区
主に自動車向けの特殊鋼メーカー

棒線事業部 棒鋼製品 例

クランクシャフト



スズキ

ナックル



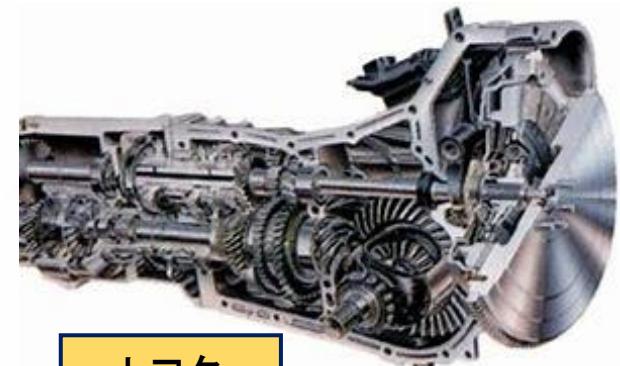
いすゞ

ショックアブソーバー



日立アステモ
KYB

トランスミッション用ギア



トヨタ

ステアリングラックバー



ジェイテクト・NSK
KYB・明石機械

(リア)アクスルシャフト



いすゞ
SOMBOON

ハブ



NTN
ジェイテクト

棒線事業部 線材製品 例

普線製品

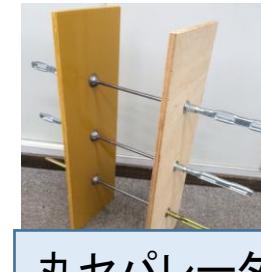
釘



針金

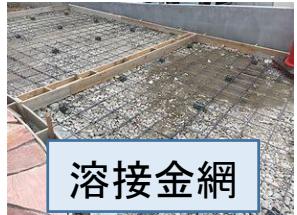


フェンス用鉄線



丸セパレーター

 安田産業
第一線材

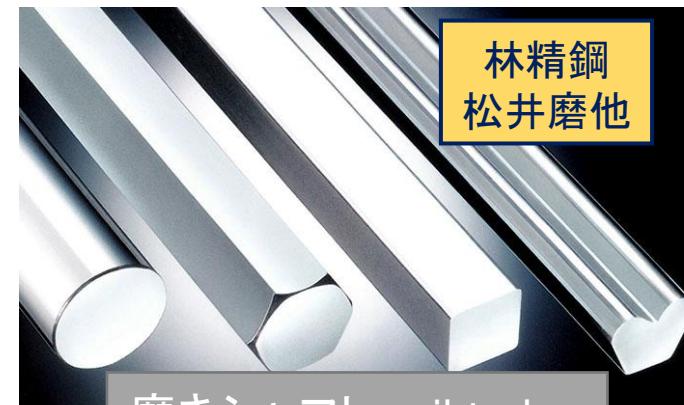
 蛇籠・
かごマット


溶接金網

なまし鉄線

安田産業

磨棒


 林精鋼
松井磨他

磨きシャフト coil to bar

硬鋼線材(高炭素線材)製品



硬鋼線


 Sばね
シート用


ガードケーブル

JFEテクノワイヤ

ワイヤロープ

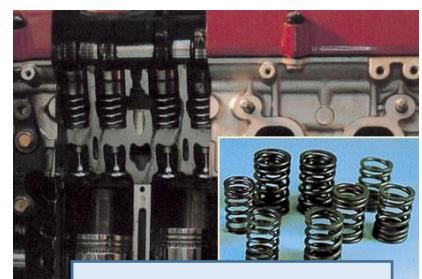


スチールコード



東京製綱

自動車ばね



エンジン弁ばね

CH製品



ボル



冷鍛パーツ

ハイテンボルト


 日本ファスナー
メイドー・O&K他

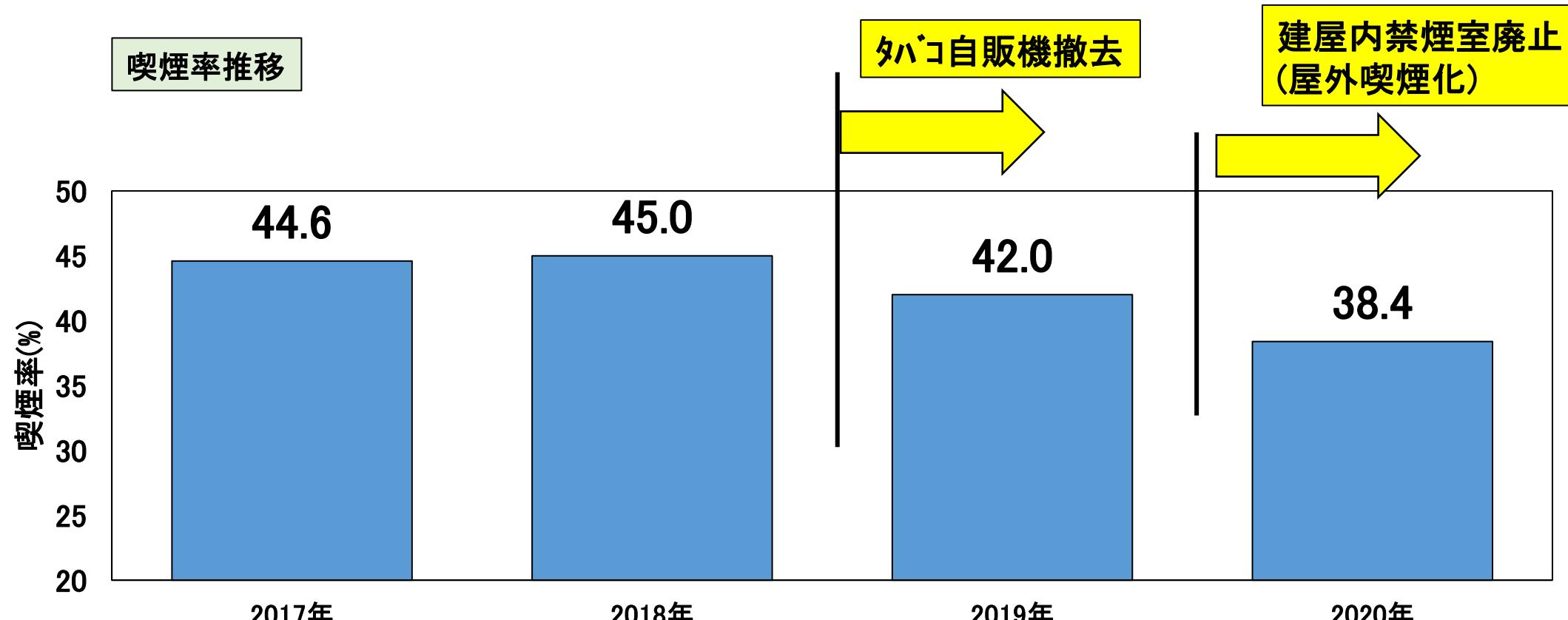
禁煙活動について (2021年～現在まで約4年間の取り組み)



2020年代の喫煙率状況

【2021年度時点での喫煙環境について（小野寺が入職した時点）】

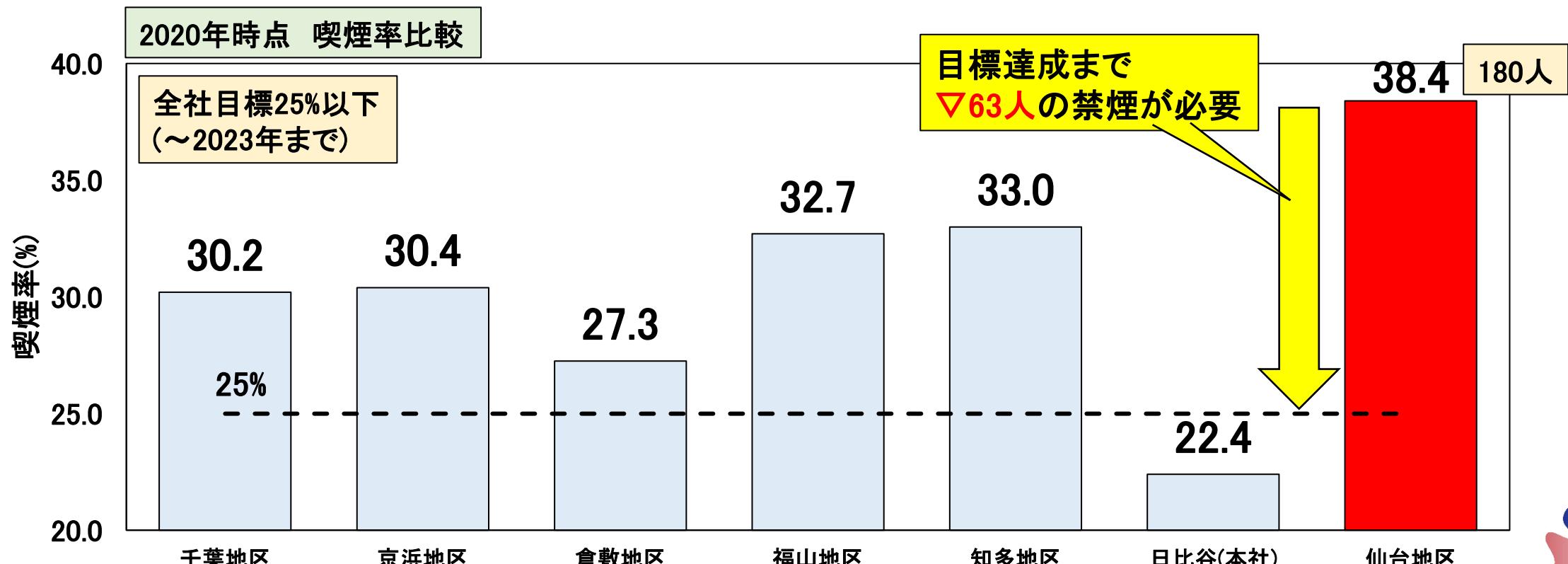
- 健康増進法の一部の改正やコロナウィルスの影響で屋内喫煙所は全て廃止
- 他製造所は禁煙活動がすすんでいたが仙台はまだまだ自由に喫煙できる環境
- 禁煙活動はほとんど行われていなかったため仙台地区が全社の中でTOPの喫煙率



2020年代の喫煙率状況

【2021年度時点での喫煙環境について（小野寺が入職した時点）】

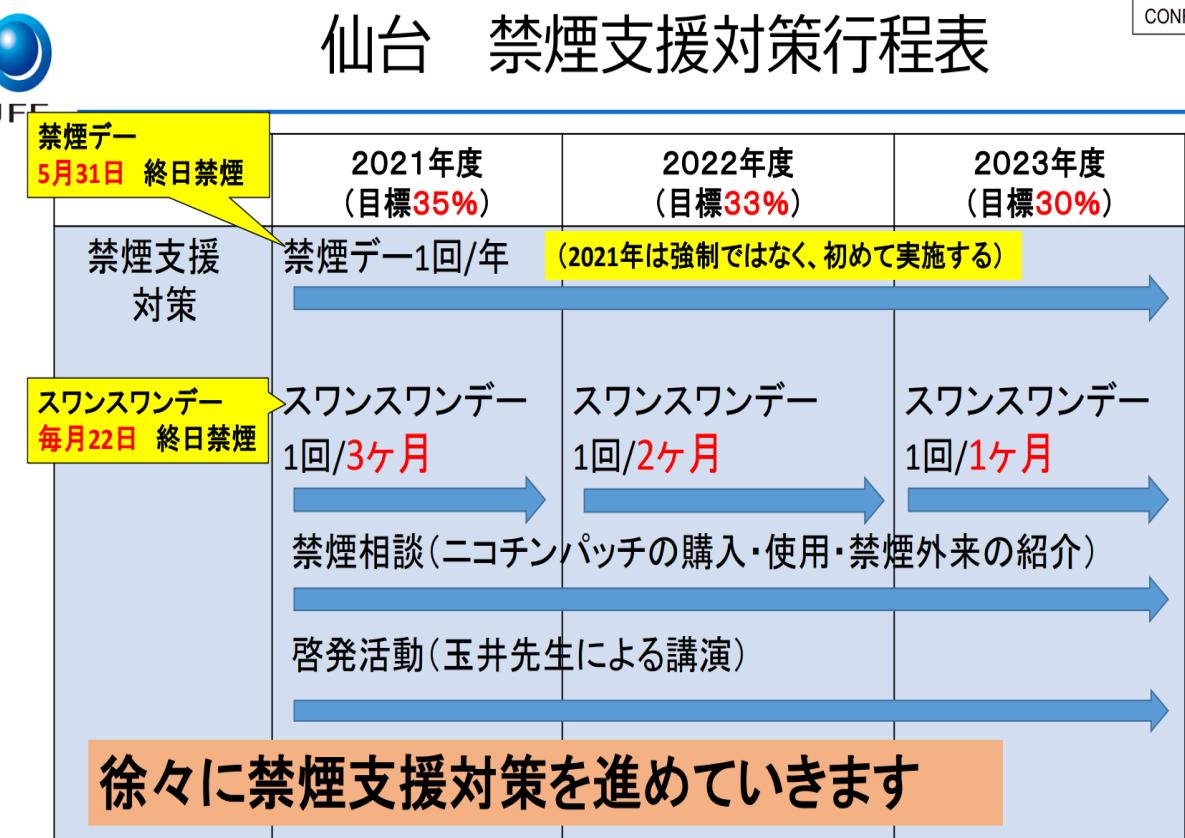
- 健康増進法の一部の改正やコロナウィルスの影響で屋内喫煙所は全て廃止
- 他製造所は禁煙活動がすすんでいたが仙台はまだまだ自由に喫煙できる環境
- 禁煙活動はほとんど行われていなかったため仙台地区が全社の中でTOPの喫煙率



2021年～2022年の禁煙への取組み

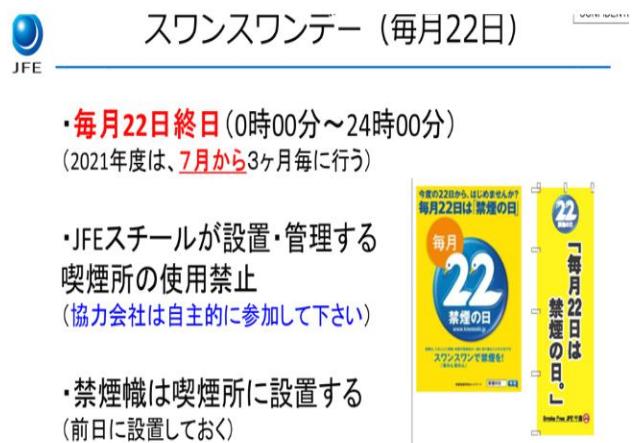
①禁煙支援対策工程表の作成

喫煙率目標を設定(当初3か年計画)
そのため施策を所として決定



②スワンスワンデー、世界禁煙デーの設定

喫煙環境を制限することで禁煙意識促進



- (4-4) 禁煙連絡～世界禁煙デー(所内一日全面禁煙)～
- 実施内容 禁煙を推進するため、各工場・室が管理する喫煙所の利用を積極的に禁止する
 - 日時 2021年5月31日 0:00～24:00
 - 対象地区 仙台地区構内
- ※ 当日は、喫煙所パトロールを実施する予定です
※ 2021年は、初トライにて、強制ではありません

2021年～2022年の禁煙への取組み

③所内禁煙パトロール開始

喫煙制限環境時にパトロールを実施
指示だけではなく現場確認で
所として禁煙雰囲気を醸成



(4-4) 5/31世界禁煙デーの当日の様子

CONFIDENTIAL



JFEスチール全ての部署で、ポスター掲示にご協力いただきました！
協力会社は積極的な参加を依頼しましたが、多くの協力会社においても
ポスター掲示ありがとうございました。

④世界禁煙デーアンケート実施(喫煙所利用を積極的に禁止)

世界禁煙デーのアンケート結果

＜対象者＞
管理センターにて勤務する喫煙者 27名

回答 27名 未回答 0名 全員がアンケートに協力してくれました。

禁煙デーでは…

禁煙した	8名 (29%)
禁煙しなかった	16名 (60%)
すでに禁煙している	3名 (11%)

アンケートを実施し
所内の意見・感想を集約
無記名式とすることで
喫煙者の本音を引き出すことで
次善の策に反映

世界禁煙デーのアンケート結果

CONFIDENTIAL

(Q) 禁煙デーの感想をお願いします

○関心期(=すぐにではないが、いずれ禁煙したいと考えている)の意見を集約しました

- ・本来は医師に禁煙するように言われている、禁煙したい
- ・これを機会に禁煙について考えたいと思った

・苦しいかと思ったが、あまり吸いたい気分にならなかった
(意外に少ない本数でも大丈夫だった・今まで習慣で吸っていたのでは！?)

→新たな発見につながった

世界禁煙デーのアンケート結果

CONFIDENTIAL

Q 禁煙デーの感想をお願いします

○無関心期(=禁煙する気がない)の方の意見を集約しました

- ・禁煙の意思のある人だけが取り組めばよい
- ・無意味、不要
- ・たまにやって下さい
- ・仕事中、イライラした気分になった
我慢している気分でストレスを感じた

2022年度 JFEスチール社員へのアンケート結果

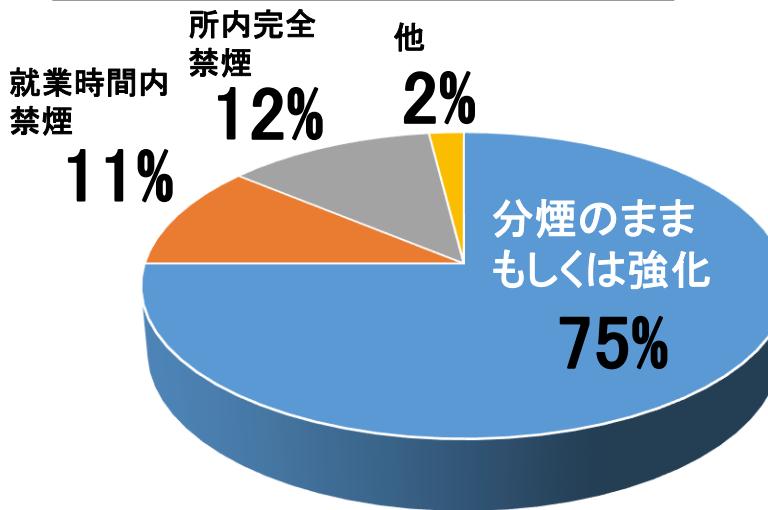
2021年～2022年までの活動意見集約のためJFEスチール社員へのアンケートを実施
→次年度以降の活動計画に反映することを目的

実施期間 2023年3月15日～25日

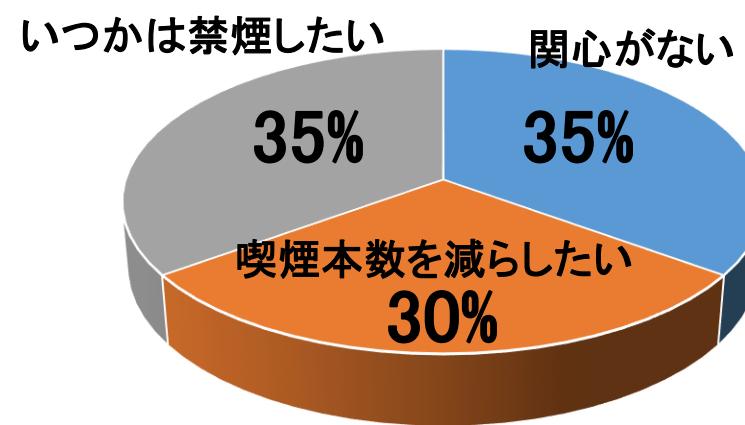
対象 JFEスチール直社員

配布444人、回答431人…回答率97%

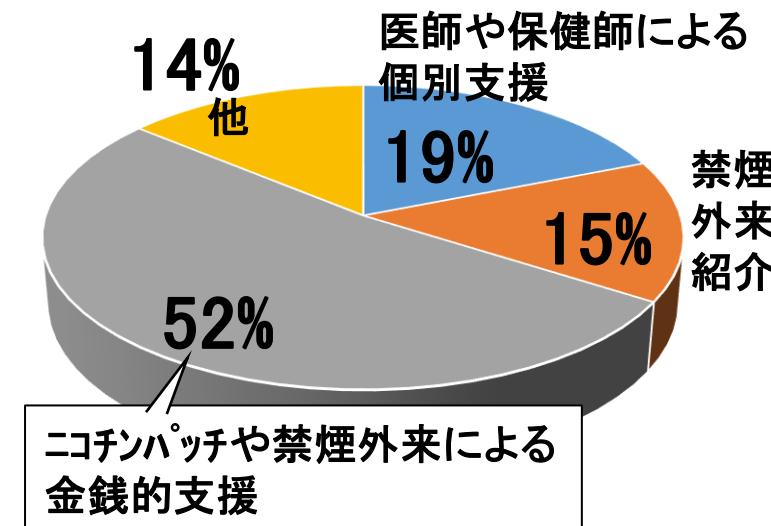
Q)どのような禁煙対策を希望?
対象:全社員



Q)禁煙にどのくらい関心あるか?
対象:喫煙者



Q)禁煙に対しての要望は?
対象:喫煙者



社員の98%が
「分煙の強化+就業時間内禁煙+全面禁煙」
したいという結果

喫煙者の半数以上が禁煙に興味あり

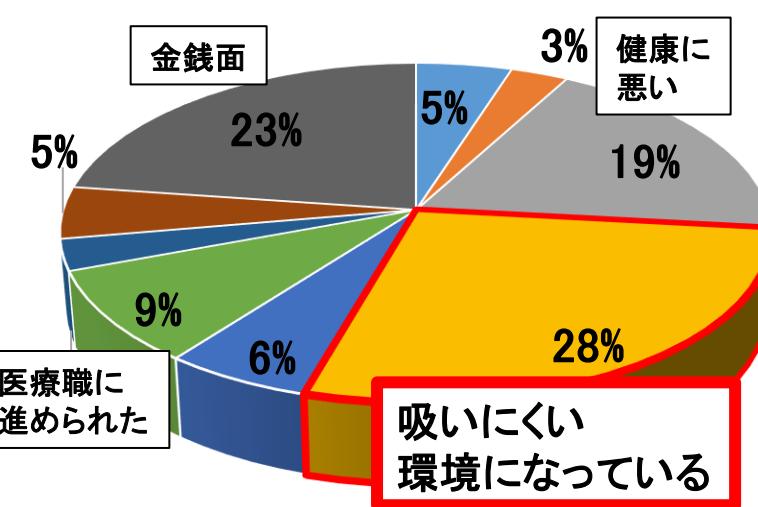
ニコチンパッチ支援や医療職支援を望んでいた

＜まとめ1＞社員は禁煙施策の強化を望んでいた
＜まとめ2＞喫煙者も半数以上は禁煙したいと望んでいた
【結論】会社で十分支援できる内容があることが判明

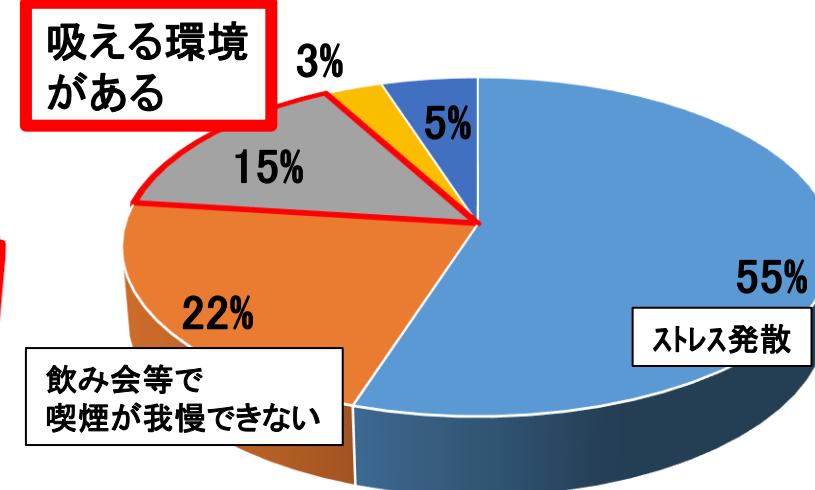
2022年度 JFEスチール社員へのアンケート結果

喫煙者に禁煙、減煙への関心調査実施

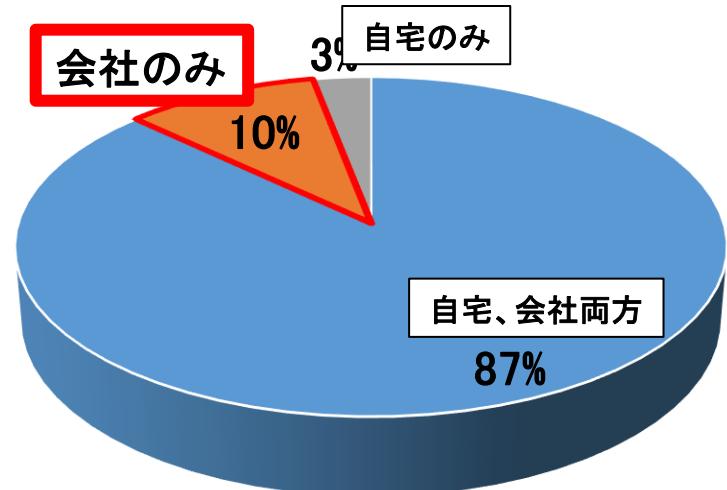
Q)禁煙したい理由



Q)禁煙したいがやめられない理由



Q)喫煙者が喫煙する場所



＜まとめ＞吸える環境を減らすことで禁煙につながる可能性が示唆
【結論】会社内での環境制限を拡大することを2023年度から提案

2022年度 JFEスチール社員へのアンケート結果

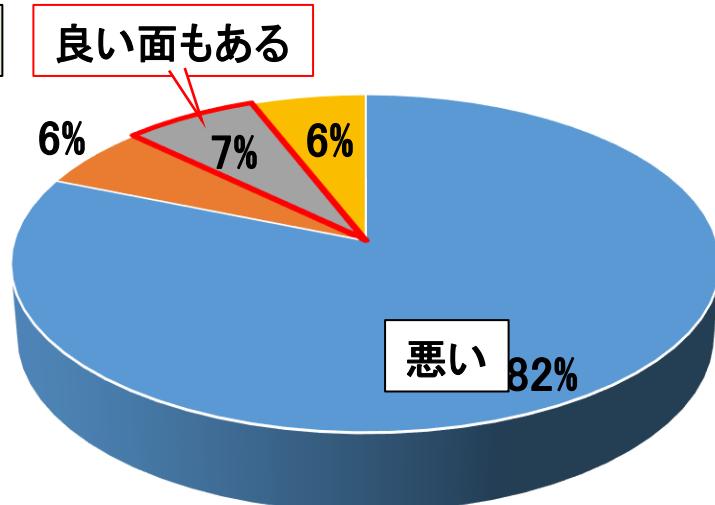
【結論】タバコに対する正しい知識を得る場が必要である

実施期間 2023年3月15日～25日

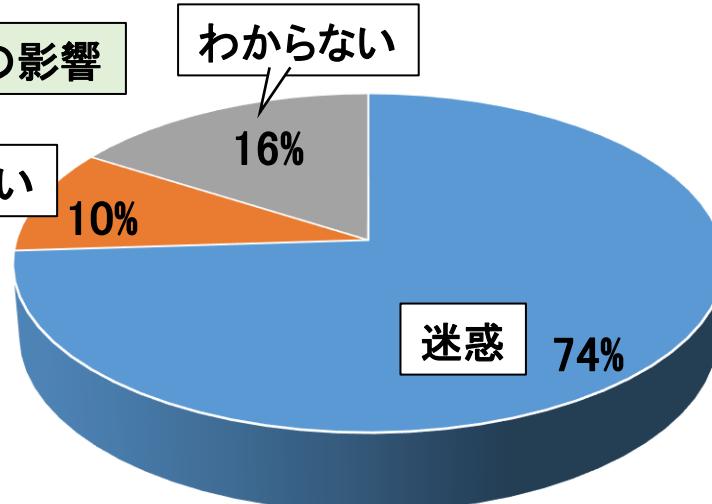
対象 JFEスチール直社員

配布444人、回答431人…回答率97%

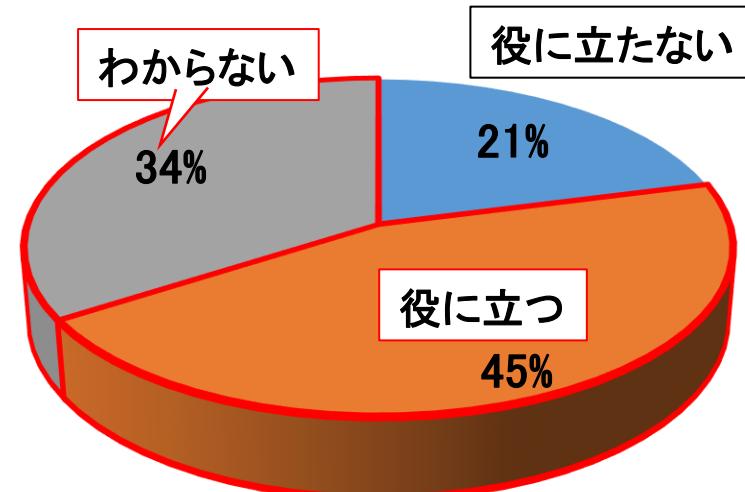
Q) 身体への影響



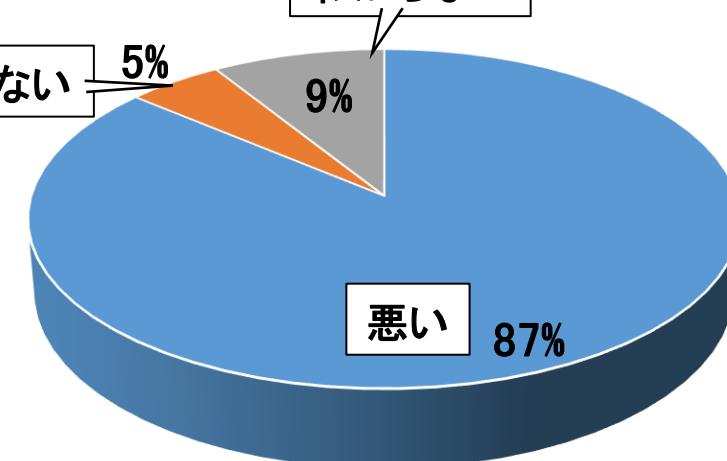
Q) 周囲への影響



Q) 心への影響



Q) 周囲の健康への影響



【アンケート結果を受けての対応】

- 1)会社として喫煙に対しての方針を掲げ禁煙を積極的に推進
全社員へ伝えた
- 2)喫煙できる環境を積極的に制限
- 3)タバコに対しての正しい知識を得る場を提供
「タバコの依存の仕組み」に焦点を当てた教育



1)会社としての喫煙に対する方針

●会社の定年の延長(65歳定年)⇒働き続ける期間の延長

近年の日本の少子高齢化社会が進む中、**労働力確保は会社としては大きな課題**

現社員の健康を守ることで定年まで働いてもらうことが労働力確保には一番の近道

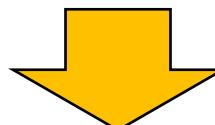
『日本で事業を継続する(=労働力確保)観点から会社として禁煙してもらうことは大切』

●健康寿命を延ばすことが課題⇒健康に働く期間の延長

日本の平均寿命は順調に伸びてきている 男性 81.05年、女性87.09年(2023年)※

健康に働く期間をいかに延ばすことができるかが課題となっている

『健康に働いて頂くために禁煙をすすめる』



※一般的に喫煙者と非喫煙者
平均寿命の差は約10年

仙台製造所で働くみなさまが

健康に働き続けることができる環境づくりが求められている

2) 環境制限 2023年4月～

(施策0)JFEスチール他地区訪問による情報交流

【目的】

- 1)他地区取り組み状況の把握…
禁煙に向けた良好事例共有や喫煙率の推移確認し仙台地区の目標感を設定
- 2)禁煙セミナー勉強会…
禁煙セミナー手法の勉強、事例の共有

他地区訪問状況

年度	訪問先	議論内容
2022年	千葉製造所	禁煙活動実施状況…仙台地区への活動展開事項を相談
2023年	知多製造所	所内完全禁煙開始後の課題、問題点の共有(仙台展開前提)
2024年	日比谷本社	5地区産業スタッフ(保健師)交流会
	倉敷製造所	倉敷開発禁煙セミナー(仙台展開前提) 禁煙セミナー見学及び実技指導 …難しい事例に対しての助言



仙台地区の禁煙活動の下準備として他地区と積極的交流(メール、Teamsチャットを積極活用)



2) 環境制限 2023年4月～

(施策1)2023年4月～のJFE直社員の就業時間内禁煙

CONFIDENTIAL

就業時間内禁煙開始宣言
(対象:JFE直社員)



2023年4月から就業時間内禁煙を開始します

その先に、敷地内禁煙を目指します

JFEスチール仙台製造所は、タバコの害から皆さまをお守りします

＜就業時間内禁煙 2023年4月1日～＞

但し、食休・残業時間休憩時は可

※待機車内および駐車場も就業時間内喫煙は禁止

協力会社の皆さまは、1～2年後を目途に要請予定です。

敷地内禁煙へ向けて、準備・ご協力をお願ひいたします。

仙台インカラへ『就業時間内禁煙カウントダウンタイマー』を設置しました。

禁煙チャレンジご希望の方、お待ちしています！！

いつでもご相談下さい♪



2) 環境制限

(施策2)定例所内禁煙パトロール実施

月1回の管理監督者が集まる中央安全衛生委員会で報告
各所属にも独自でパトロールを依頼、報告書をご提出いただいた

定例所内禁煙 パトロール実施



5月21日(スワンスワン前日)



双方とも、当時は喫煙の形跡
は確認できませんでした。
ありがとうございます◎

世界禁煙デー前日～
原料査定室西側の
喫煙場所の閉鎖、
吸い殻入れの一時撤去

製-11前の喫煙場所に
「終日禁煙」の表示を貼
り付け、
吸い殻入れの一時撤去

- ・前日N直から灰皿撤去
- ・前日始業前ミーティングにて周知
- ・当日始業前、喫煙者への口頭周知
- ・巡回時間内パトロール4回
(6:45, 10:30, 12:30, 15:00)

「線3」喫煙所



素晴らしい
取り組みを
ありがとうございます

棒鋼工場
対策後 東側喫煙所
灰皿・バケツ撤去



監督者ニコチンパットで禁煙継続中12日目
監督者 率先禁煙中！！



品室保証室
11月～喫煙者輪番で
禁煙促進ポスター掲示！！！



この取り組みがきっかけとなり
現在禁煙チャレンジ中の方も
いらっしゃいます◎

製鋼部 製鋼技術室
喫煙所撤去(D1 原料詰所屋外)



線材工場「線3」喫煙所



9月27日～灰皿を完全撤去
喫煙される方は、今後携帯灰皿を利用

2) 環境制限

(施策3)設置喫煙所の整備基準を再整理

喫煙所整備基準(所内基準で全員に適用)を強化

2023年 灰皿内燻り発生

(4-4)健康連絡③ 嘸煙所の管理について(CZ-K002)

安全健康管理基準 受動喫煙防止要領 改訂(CZ-K002)

- 喫煙所は、別紙1（例）の
喫煙所清掃チェックリストを用いる等して、
週1回以上の頻度で定期的に
灰皿周辺の清掃及び吸い殻の片付けを行い、
管理する。

- 吸い殻を入れる容器(灰皿・一斗缶等)は約7割を示すラインをマーキングし、吸い殻がラインを超えないようにするとともに、喫煙所の周り5m以内は可燃物や雑草等がないよう維持管理する。

※9月17日に喫煙所管理責任者の方々へ説明会を開催しました

別紙1(例) 喫煙所清掃チェックリスト				
月	日	担当	灰皿周辺の清掃	吸い殻片付け
4月	日()			
	日()			
5月	日()			
	日()			
	日()			
	日()			

(健康面、防災面、両面での指導案件です)

近くに消火バケツはありましたがあ、バケツ側面が破損しており、十分な管理が出来ていなかった可能性があります。各指定喫煙場について今一度確認チェックを実施し、毎日の安全パト等の定期チェックルートに加えることや、外部喫煙者にもルールが分かるよう掲示するなどを実施し、各指定喫煙場の管理者は、管理を徹底するようお願いします。

外部者等の喫煙で吸殻と一緒にタバコ箱や他紙類といったタバコ以外の可燃物の混入なども見られ、何度かパトロールで指摘しております。

今回、JFEコンフォーム(株)殿にて、喫煙場所での固定式灰皿を撤去し、各自の携帯灰皿への切り替えでの使用可とする対策を実施しておりますのでご参考願います。

ただし、各携帯灰皿の吸殻は防災の観点から吸殻は持ち帰りいただくか職場で管理した吸殻収集容器に廃棄をするようにしてください。

2023 JFE Steel Corporation. All Rights Reserved.

固定式灰皿を撤去し、携帯灰皿への切り替えをする喫煙所もあり。

携帯灰皿内の吸い殻は持ち帰るか職場で管理した吸い殻収集容器に破棄をするようにする

2)環境制限 2024年4月～

(施策4)2024年4月～構内全員での就業時間内禁煙
(施策5)2025年4月～所内完全禁煙宣言

就業時間内禁煙開始宣言(対象:全社員)



仙台製造所 今後の禁煙活動

CONFIDENTIAL

2024年4月より、構内全体で

①スワンスワンデー(終日禁煙0時～24時)

②就業時間内禁煙(休憩時間を除く)

を開始。

今回の対象者は、

「スチール社員(他地区含む)・お客様・協力会社・スポット業者」を含め、構内にいる人すべて

要請事項(2024年3月末までの準備として)

①社員の皆様・二次業者様への周知(口頭・掲示物)

②実施に向けて各社でどのように取り組むか、話し合いをお願いします

協力会社

協力要請は撤廃します

所内完全禁煙宣言

CONFIDENTIAL



仙台製造所 今後の禁煙活動

現在、構内全体で

- ①スワンスワンデー(終日禁煙0時～24時)
- ②就業時間内禁煙を実施中



2025年4月から、敷地内禁煙を開始(駐車場含む)

<禁煙活動の方針>

- 環境の制限
- 禁煙促進活動

敷地内禁煙を行い、吸える環境を制限する

禁煙プログラムの実施

→ニコチン依存の仕組みを理解し、禁煙を促す



2) 環境制限

(施策6) 禁煙に対する理解活動

協力会訪問による理解活動

- ・協力会(22社)代表への直接説明
- ・協力会作業者への直接説明
→理解浸透【啓蒙】活動を実施

協力会作業者への直接説明



所内完全禁煙への風土醸成

- ・幟、横断幕、ポスターの製作と掲示
→時間をかけての風土醸成

喫煙所点検風景



幟



ポスター



横断幕



横断幕



3)タバコに対しての正しい知識を得る場を提供

○2022年～希望者個別に喫煙についての教育を実施

○2024年5月～全職場でJFEスチールが独自開発した禁煙セミナーを適用
禁煙支援(特開2025-034244)
参加は強制ではないが喫煙者のうち約9割が参加

セミナー参加人数:127名(ニコチンパッチ使用:107名)

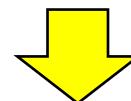
・禁煙開始者:127名中68名(53.5%)

(定義…セミナー終了時(禁煙開始後3か月まで)まで禁煙を継続)

・禁煙継続者:68名中53名(41.7%)

(定義…セミナー終了後半年以上禁煙継続できている人)

→15名の方が再喫煙



・何かあったわけではないが、吸いたい気持ちが残っていて、我慢できなかった

・飲み会の席での1本や、ストレスが溜まって自宅で…など

→会社喫煙所での再発はほぼなかった

喫煙所の減少(吸いに行くのが面倒)や
喫煙所で吸うという雰囲気感が減ってきている成果



2025年4月～現在

喫煙率低減と受動喫煙防止に向けた活動推進(所内完全禁煙開始中 2025年4月～)

- ・4月から所内完全禁煙を開始(駐車場を含む)
- ・定期的な喫煙パトロールの実施
- ・禁煙セミナーの継続

喫煙所撤去状況

	場所	件数	進捗
①	東北倉庫エリア	3か所	撤去完了
②	棒鋼工場エリア	7か所	
③	線材工場エリア	6か所	
④	製鋼鋼片エリア	16か所	

棒鋼工場



クリエイトフジ



製鋼工場



構内状況

のぼり等を設置、全作業者への周知を徹底中



パトロール状況

朝出勤時間帯、昼食休憩時間帯の声掛けパトロール実施中

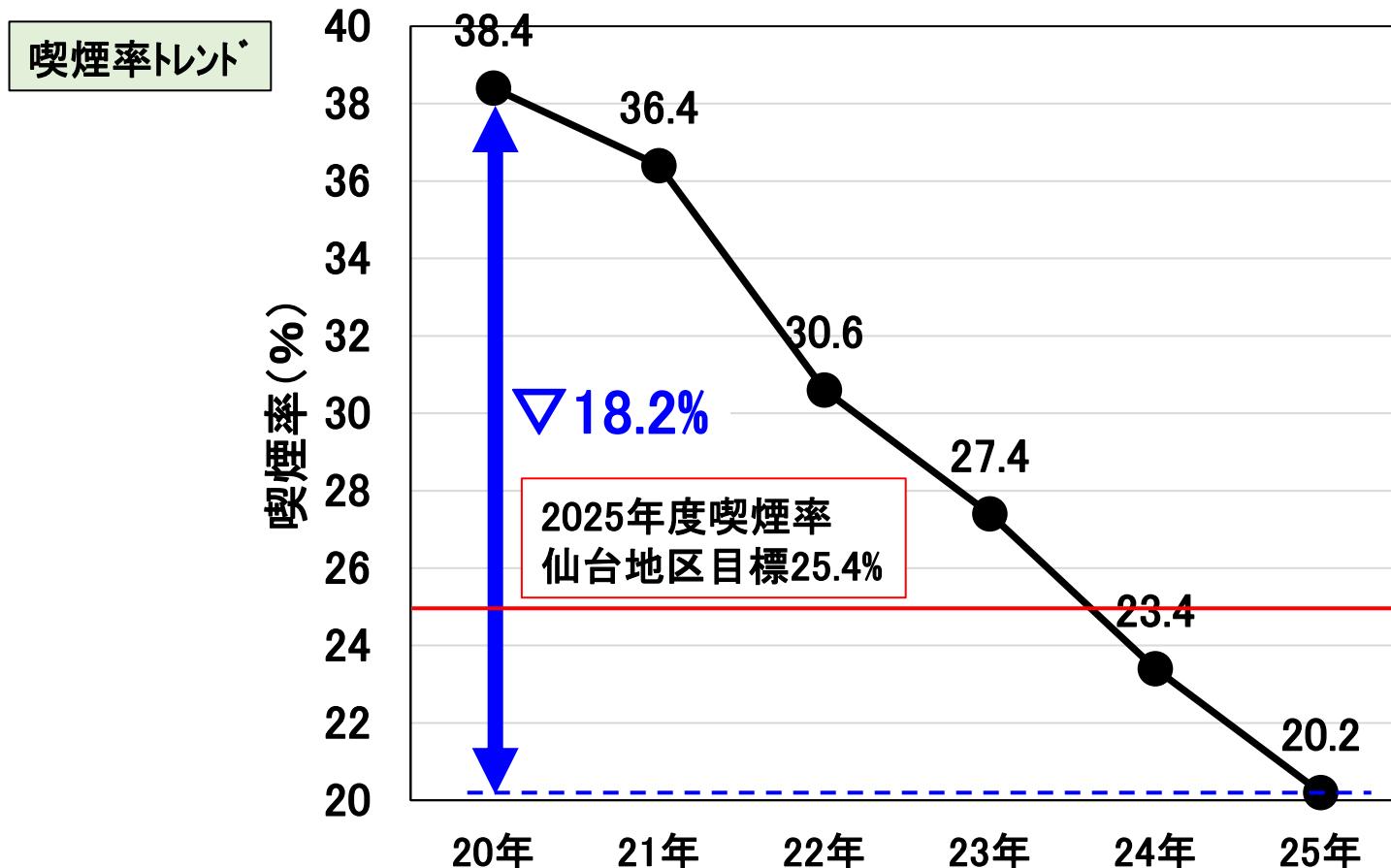


まとめ

【これまでの取組みまとめ】

- 2021年～ 本格的禁煙活動取組み開始
- 2022年～ 世界禁煙デー・毎月22日のスワンスワンデー導入(就業時間内禁煙)
- 2023年～ JFES社員 就業時間内禁煙導入
- 2024年～ 所内 就業時間内禁煙導入(協力会社も含めた全社員)
- 2025年～ 所内 完全禁煙導入

これまでの取組みが功奏し
喫煙率は20.2%迄低減
(目標に対して大幅達成)



まとめ

○環境制限…

新規の喫煙者発生や再喫煙の予防など、喫煙率低減への一定の効果が期待できる

○喫煙に対する知識(禁煙セミナー実施)…

- ・タバコについての理解を促すだけでなく、医療職と喫煙者が直接会話し、関係を構築する良い機会となる
- ・ニコチン依存の仕組みを理解することで、納得感を得られ、再喫煙を防ぐ効果も期待できる

○トップダウン主導の重要性…

- ・社の方針として経営者が方針(禁煙推奨)を決定したことで、禁煙推進活動が円滑に進む一助となった
- ・禁煙反対派勢力からの抵抗・反発への説明がし易く「会社が決めた方針ですから！」と言えるようになった

○長期的スパンでの段階を踏んだ計画…

- ・社員の理解を得ながら計画的に施策を実施、禁煙へ向けての土壤形成が大切である。

＜今後の方針＞

- ・喫煙者残約100名への粘り強い支援により更なる喫煙率低減を目指す
- ・禁煙成功者、再喫煙者への定期的フォロー(だいじょうぶ？活動)の継続。





JFE

Copyright © 2025 JFE Steel Corporation. All Rights Reserved.

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

